

**平成27年度（通期）  
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 図書館

**1. 基本情報**

1501

施設名	伊丹市立図書館南分館		
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数・貸出冊数 (単位： 人・冊 )	
	指標の意味	年間の来館者数・延べ貸出冊数	
	今年度の目標値	150,000人・380,000冊	通期の実績値 149,062人・387,229冊

**2. 利用状況**

利用状況等の推移		H17※	H23	H24	H25	H26	H27(上期)	H27(通期)
	来館者数(人)		153,179	156,894	159,794	149,995	148,545	76,835
講座開催回数(回)		36	97	90	92	100	52	113
講座参加者数(人)		1,071	2,167	2,069	1,951	2,209	1,405	2,470
貸出冊数		259,651	360,214	385,783	377,344	372,830	199,807	387,229

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

**3. 管理経費等**

平成27年度指定管理者の収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	33,455	指定管理委託料	34,248
	その他（コピー収入）	50	その他（コピー収入）	31
	合計	33,505	合計	34,279
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	31,814	人件費	33,467
	維持管理経費	195	維持管理経費	200
	事業等経費	1,496	事業等経費	1,476
	その他		その他	
合計	33,505	合計	35,143	
<収支差>		<収支差>		
収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	-864	

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入	0	0	0	0	0	-
	（内、使用料収入）	0	0	0	0	0	-
	市の支出	38,423	38,193	38,734	40,170	41,248	-
	（内、指定管理委託料）	31,423	31,193	31,734	33,170	34,248	-
実質経費（歳出－歳入）	38,423	38,193	38,734	40,170	41,248	-	

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

#### 4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果			
		指定管理者自己評価		施設担当課評価	
		評価	特記事項	評価	担当課所見
管理 体制等 に関する 事項	維持管理業務の実施状況 館内の清掃を定期的の実施し、常に清潔に保たれているか。 保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。 備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。 修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。 環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A	老朽化による施設や設備、機器等の劣化が見られるが、利用者の利便性と費用対効果を十分に考慮しながら、生涯学習センターとも連携し臨機応変に対応しました。	A	協定書・仕様書に基づき、適切な維持管理業務を実施している。設備及び機器等の老朽化による施設利用の満足度低下も見られない。
		B			
		B			
		B			
		A			
職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	図書館運営に関して必要な資格と実績を積んだ職員を配置しており、有用な研修には積極的に参加しました。	B	有用な研修に参加し、職員の資質向上を図っている。研修後の知識の共有も実施し、人材育成に努めている。
	職員研修は、計画どおり実施しているか。	A			
	防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急連絡体制も整備し、年2回の防災訓練も実施しました。	B	防犯・防災に速やかに対応できる体制を整えている。
	避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等 サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。 利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。 苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。 特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A	利用者からのご意見には関係部署も交えて迅速な対応を心がけたほか、窓口対応に係る研修の実施、行事やレファレンスの充実にも努めました。	B	利用者サービスの向上に向け、地域に合った行事の企画・運営に取り組んでいる。貸出・予約やレファレンスの満足度も高い。
		B			
		B			
		B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	市内各図書館とも連携し、事業の拡充に努めました。	B
施設の設定目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。		A			
個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報についてはセキュリティ運用基準を遵守し、情報提供では読書案内やチラシ、ホームページ等にて広く発信しました。	B	積極的な情報発信・情報提供を行い、利用者の増加に繋げている。適切な個人情報の管理を行っている。
	利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
	ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	予算の執行状況を常に把握しながら、適正に行いました。	B	収支計画に基づき、適正に行っている。複数によるチェック体制も実施している。
	経理処理は、適切に行っているか。	A			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	年間の利用状況では前年比で来館者、貸出冊数とも増加しているものの、来館者の目標値を越えることができなかった。事業面では、講座開催数及び参加者数が過去5年間で最高値を達成しており、魅力的な事業に取り組む姿勢は高く評価でき、市が期待する管理者としての責務を果たしている。
総合評価 B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」＝管理運営が優れていると認められる。

「B」＝管理運営が適正であると認められる。

「C」＝管理運営が改善を要する水準である。

#### ☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成28年3月1日 ～ 平成28年3月15日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・本の貸出・予約等について →「たいへん満足」33%、「やや満足」60%	今後も丁寧な対応を心掛けるとともに、他の図書館とも連携しながら、更なる満足度アップを目指します。
回答者数	・本や調べものの相談について →「たいへん満足」29%、「やや満足」68%	
95	講座やおはなし会など行事について →「たいへん満足」13%、「やや満足」73%	引き続き、利用者ニーズに合致した事業展開に努めるとともに、市内各図書館と連携した事業にも取り組み、また足を運びたいような図書館作りに注力してまいります。

#### 5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置